

コミュニオン地域グループ活動 感想文集

2021（令和3年）年12月吉日
コミュニオン地域グループ活動

コミュニオン地域グループ活動感想文

はじめに

「自分で自分を幸せに出来るような人生をどうして築いたらいいでしょうか」

という鈴木先生の講話会でのお言葉のもとに 2009 年 6 月に始まったグレールメール活動。

そのグレールメール活動も 2015 年 12 月に終了し、その後は「**コミュニオン地域グループ活動**」として

続けてきました。現在も継続し現実に集い活動がしているのは「札幌幸せ発信地」「コミュニオン千葉グループ」の 2 つです。オンラインのグループ活動は 2012 年から始まりました。スカイプや Zoom などのツールを使い、各地のコミュニオンのリーダーが集ってグループ活動を続けてきました。

コミュニオン地域グループ活動に参加下さっている皆さまは、ハウスのある都内から遠くにお住まいです。それにも関わらず、ハウスで開催される各種講座、鈴木秀子先生のセミナーなどに参加しながら熱心に力を養い、地元でのグループ活動を積極的に運営し充実したものにされてきました。同時にオンラインでのグループ活動にも継続的に参加下さってました。遠方ゆえコミュニオンの資格取得も難しい面もありますが、エニアグラムファシリテーター、心の対話者、アニメータ、ベルリーダ、コーチングメンターと資格を取得し研鑽を積まれてきました。札幌からはアニメータ 2 人、心の対話者が生まれました、さらに札幌わかちあい会も発足しました。オンライングループ活動にはスコットランド、札幌、広島、神奈川、栃木、群馬、千葉、茨城などから参加下さっています。オンライングループ活動は毎月 1 回、多い時は月 2 回開催し、通算では 176 回の開催になりました。時間帯も一日の終わりに無料開催を続けています。

お互いに住まいが離れていますので、講話会、有資格者セミナーなどでお会いし一緒に昼食をとにもするくらいしか現実にはありません。それでもオンラインや対面を通してグループ活動を長年続けてくると、鈴木先生が教えて下さった「**サポートグループ**」のように成長してきているように感じます。

サポートグループとは困難な状況になったとき大丈夫だよという思いやりに加えて、「自分で問題を解決し、前進していこうとする勇気と強さ」だと教えてもらっていました。元々のグレールメールのグループ活動は、「健全な人がより健全に成長していくための助け合いのわかちあいですよ」と教えてもらっていたので、地域グループ活動にも引き継がれマイペースでサポートグループとして成長してきたのかも知れません。

「感想文」は数年おきくらいに、インターネットを活用し、有志が協力して作成しています。感想文を作るきっかけも鈴木先生から以前にいただいていた。

その時の先生のお言葉を思い出すと、グループ活動を続けて、今自分は、どのように感じているか、良かったことは何か、これからも続けていこうなど、それぞれの大事な体験から学んだことを、感想文として書き、それを感想文集という形にして、他の方にも読んでいただき、皆さんでわかちあってみたらどうか、というものでした。このようなことを、1 ミリ 1 ミリと積み重ね、訓練続けていくことが、

冒頭に記した「自分で自分を幸せに出来るような人生をどうして築いたらいいでしょうか」に繋がるものとその意義を感じています。あらためて私たちをこのように導いて下さった鈴木秀子先生に

感謝申し上げます。同時に、グレールメール活動に参加下さる方々、NPOコミュニオンのお仲間、そしてご縁ある方々に感謝申し上げます。

「一緒に、この人生を幸せなものに、そして私たちが幸せ発信地になれるように一緒に生きていきましょうね。」、これは前回の感想文の時に先生から頂戴した言葉です。これからもマイペースでこの言葉を胸に活動を続けて参ります。

令和3年12月吉日
コミュニオン地域グループ活動
大村 義克、酒井 隆（記）、横田朋子

1.オンライングループ感想文

毎月オンラインで、コミュニオンの顔見知りの方々と、「致知」の"人生を照らす言葉"を読んで感想をわかちあいます。自分一人では、とても感じ得ないような発言を聞くと、こんな見方考え方も、出来るのだと新たな発見と気づきをいただく貴重な学びの場です。今月の夏目漱石の"夢十夜"の第二夜は、大変興味深く読ませていただきました。侍が悟ろうと必死になればなるほど、滑稽に見えてしまいます。その姿に、自分の姿を重ねて笑ってしまいました。5年ほど前から近くの、禅寺に坐禅に通っています。頭の中がいつもうるさい私は、なんとか何も考えない無の状態になりたくて、必死で通っていました。40分が雑念だらけで、無の状態はほんのわずかな時間だけ！これではなんのこともやらと焦り、必死で般若心経を心の中で唱えたり、一文字ずつ丁寧に頭で写経を試みたりと、あれこれ無になる工夫を試みました。でも無にはなれません。ある時思いあまって、和尚様に、「無になれません、雑念だらけです」と言うと、こんな答えが、返ってきました。「この座禅会は修行ではなく、ただ座るのみ、悟ろうなんて思いなさんな！雑念は自然現象と同じで、あるのが当たり前、ただ気づくことが大切なんだよ、気づいてはまた、スースーと呼吸に戻る、また雑念が起こったら、それに気づく事、捕まえなさんな」。なんだ！それでいいんだと思えました。それから不思議なことに、日常生活で、心がザワザワしたり、落ち込んだ時、今私は、どういう状態にあるのか、少し離れたところから、自分を見て、どうしたいのかと自分に問いかけ、あるがままの自分に、気づくことが出来るようになりました。毎朝の訓練のお陰で、秀子先生の学びを、生かして"自分には乗り越えられる。やれないはずはない"と、言い聞かせ上向にギアを入れ変える訓練の毎日です。学びって有難いなと思う日々です。以前は長いなと思っていた40分の坐禅の時間が、最近はあると言う間に過ぎるようになりました。無の時間が長くなってきたかな？

広島県
石井貞江 様

2.セカンドステージの生き方を振り返る

会社を定年となり、その後のセカンドステージをどのように生きたか振り返ってみたい。コミュニオンの学びに専念でき、好きなことをやりたいようにやれて、自由を手にして、楽しい時代であった。

先生からコーチング部門を任されて、一生懸命に取り組んだ。一人一人の学びが大切だと感じて、セルフコーチングとして、自己研鑽を主体にした。

先生の教えを身につけて、皆さんと一緒に学ぶことは、とても楽しい、幸せなひと時であった。特に心の奥深くで、大宇宙と一つになり、Beingの世界を探求することは、喜びであった。瞑想を繰り返しおこない、無我の境地を探し求めた。

あるがままの自分を認める心地良さを味わった。

そんな中で、地域の自治会活動に参加する機会が与えられた。社会福祉協議会で、コミュニオンの傾聴講座を開く機会を与えられ、地元の女性陣 30 名ほどで、傾聴を学びあった。参加者はまじめで良き生徒だった。そののち、自治会長とも親しくなり、「男のセカンドステージの生き方を学ぶ」という名目で、定年後の男性陣 30 名ほどと一緒に楽しんだ。趣味のことが中心で、いろいろな刺激をいただいた。これは、今も月一回開催されている。

一方、コミュニオンでは、グレールメールが始まり、グループ活動も始まった。月 1 回、テレワークで話し合いが行われた。札幌、土浦、横浜、広島とつながり、今も続いている。このようにして、自分一人の学びだけでなく、地域の人たち、今まで縁のなかった人たちも巻き込み、コミュニオンの学びを広めたことは、大きな一歩だった。

そんな中で、心筋梗塞、脳梗塞になり、老齢になったので、これらの活動も終焉を迎えた。長年の学びが生き、他者を喜ばせる活動ができたことは、何よりであった。これからは、永遠の命を信じて、死ぬまで成長を願い歩み続けたい。

神奈川県
大村義克 様

3. エニアグラムは自分で自分を幸せにする力を育てる

酒井さんから、心と身体の鍼灸センター『小さな森の泉』でのエニアグラム講座のファシリテーターのお話を頂いてから1年余りになります。鈴木先生から学んだことを、一人でも多くの人に伝えたいと活動されている酒井さんからの誘いがとても嬉しくて、是非やらせて下さいとお願い致しました。私も酒井さんと同じように、鈴木先生から学んだエニアグラムを一人でも多くの人に伝えたいと思っていたからです。

それから今日まで酒井さんとは、沢山のことを話し合いました。鈴木先生から学ばせていただいた沢山の知恵、それを一人でも多くの人に伝えていきたい、

- ① 『どんなことがあっても自分を責めない、自分を責めることは、神様を超える傲慢の罪。神様は良いところも悪いところもひっくるめてあなたをお創りになった。神様は親が子を思う何億倍ものエネルギーであなたを愛し抜いている、だから自分で自分を責めるのは神様を超える傲慢の罪です。今日から自分を責めることは一切やめてください。』
- ② 『人は孤独ではありません。掌の指から下を隠してみれば、他人はみなバラバラな存在で独立して生きているように見えるけれども、隠さなければ、指の下は繋がっている。人は深いところで繋がっている存在なのです』
- ③ 『アクティブリスニング。人は自分の話をしっかりと聞いてくれる人がいると、受け入れられたと感じ、少しずつ心を許すようになり、いつの間にか、自分は自分でよいのだ、ありのままの自分でよいのだ。と自然に自分の心の奥底にある愛と叡智に繋がり、自分で自分を愛せるようになっていく。』
- ④ 『エニアグラムとは、人間にとって必要なエネルギーが9種類あり人はみなそのうちの一つを持って生まれてくる。その一つの賜物は、どんな苦しみの中でもあなたを活かし続けてくれる力である。その力を知り自分で自分を活かす。自分を活かすということは幸せに生きるということ。』
- ⑤ 『人はいつからか行動で判断するようになり、良い大学に入れば優秀、地位や名誉、お金が沢山あれば持てはやされる。けれどもそんな競争が永遠に続く生き方に、心の休まる時はない。そうではなく、生きているだけでいい、あなたはあなたのままでいい、その視点でものごとを見れば世の中はみな平等である。』

人間は誰しも『人から受け入れられ愛され、自分の存在を自分自身で誇りに思え、できれば自分も誰かの役に立ちたい』という根源的欲求を持っています。その根源的欲求を満たせば人はみな幸せだと感じます。この①～⑤は、この根源的欲求を満たす方法です。根源的欲求を満たせば、人はみな、深いところから幸せを感じ、豊かに、光溢れる毎日を過ごすことができるようになります。酒井さんと何度も話し合った結果、私たちはこの①～⑤を世界中の人に伝えたい、それが私たちの使命である、その目標を遂行するために、私は酒井さんのサロンでエニアグラムを担当させていただいています。

東京都
片岡由加 様

4.一筋の道

振り返れば、大学に入る頃から今に続く一筋の道があったのに気づきました。スタートは心の底から嘘の無いような本来の自分の欲求に従って、素直な喜びを感じて生きている実感が少なかったことでした。あれから40年近くの歳月が過ぎました。心の求めるままに空手、TM瞑想、シルバメソッド、中村天風、そしてコミュニオンと多岐に学び続けました。

コミュニオンでは、瞑想セミナーに生後1ヵ月の赤ちゃんだった娘を連れて沖縄に行き、実母、義母を伴いと伊勢志摩、千葉にも参加しました。講話会にも沢山参加しました、リスニング、問題解決のセミナーは合計で30回くらいは参加したと思います。通信もほぼすべて受講し、エニアグラム、わかちあい、コーチング、ベルセミナー、アクティブリスニングと全ての講座を長年受講し続けました。資格もファシリテーター以外全ての資格を取ることも出来ました。

取得した資格を活かし地元土浦で「わかちあい」「ベルセミナー」「グレールメールのグループ活動」を合計で130回くらい開催することができ、今も継続しています。同時に「コミュニオン地域グループ活動」をスカイプ、Zoomでも開催し、海外、北海道、広島、千葉、茨城、神奈川、群馬など多くのコミュニオンのお仲間とわかちあいを続けてきました。こちらは176回も継続しています。多くのお仲間、わかちあいに参加下さった方々に感謝申し上げます。この間にも経済的問題、病気、子育て、介護、看取り、妻の実家が大震災で被災するなど大きな出来事がありました。自分自身の体調もしばしば崩すことも増え、心と身体のことを東洋医学的な治療や最新の心理療法のワークショップにも参加し学んできました。その中で筑波大学名誉教授の宗像恒次先生の宗像塾に入るきっかけがあり、行動科学、脳科学の視点から、心と身体の関係、カウンセリング、セラピーを本格的に学び始めました。今秋の学会において私自身の体験を元に自己考察した結果を発表しました。その結果がエクセレント賞受賞に繋がりました。

体験をまとめ発表することは、問題から私自身が学んだことを失敗も含めわかちあうことでもあり、喜びと自信につながりました。多くの学びの中で無自覚な自分自身のこだわりやトラウマが少しずつ解放されてきました。自覚は無かったのですが、とても不安になりやすく、ゆえに完璧を求め執着しやすい、そんな自分の姿にも出会いました。思った通りにいかない問題があるのは、自分が駄目だからと無自覚に自分を責め続け、休まることが無かったことが大きかったです。

問題がゆっくり一つ一つ解けてゆくことは、本来の穏やかで前向きな自分の姿に出逢い、自分を信じることであり、喜びの実感がありました。コミュニオンに学びはじめてから16年、沢山の良き思い出があります。沖縄エニアの時に鈴木秀子先生に進路相談した妻は鍼灸師になって活躍しています。沖縄瞑想セミナーと一緒にいった1歳の娘も高校1年生になりました。とても嬉しいです。

今後はお互いに支え合ってきたコミュニオンのお仲間やご縁ある方とともに、愉みながらも、問題を通して学んだことをわかちあい、さらに1ミリミリと自分らしく成長していきます。

茨城県
酒井隆 様

5.私の活動の源

鈴木先生お変わりございませんか？

いつもコミュニオンのメンバーの為に祈りを本当に有り難うございます。

まずは(グレールメール)に参加するきっかけを振り返ってみます。

鈴木先生を存じ上げたのは 20 数年前、トマス・ゴードンの(親業)を初めた頃でした。子育てに悩んでいたのですが、今考えると真実は自分を活かす生き方を探していたんだと思います。親業のインストラクターの方から、先生の(愛と癒しのコミュニオン)のご本をご紹介頂きました。私はその本を購入。何度も何度も読みました。その内、先生がニドムにいらっしゃると言う情報を頂き、Xmas にニドムで初めて先生の講演を拝聴致しました。今でもハッキリ覚えています。(きよしこの夜)の歌が作られた教会のお話しでした。初めて聞くお話でとても感激致しました。購入致しました本と持って行った(愛と癒しのコミュニオン)の本にサインを頂いた時に先生が少しお話し下さいました。それが私のコミュニオンのスタートだったんだらうと今、思います。

また東京に行った折に初めてハウスのわかちあい会に参加した時は感激致しました。そして札幌でわかちあい会が無いか探したのですがありませんでした。それで暫くしてから通信講座を受け(通信講座は苦手)当時、付随のテープを擦り切れる程聞きました。その後(愛と癒しの 366 日)の本を購入、CD も手に入れ、何度も聞いている内に、講話会の CD 会員になりました。CD はバスの中でも聞ける様にテープにダビングして又不謹慎ですが、(お風呂でカセットを聞く機械も購入)又、夜は聞きながら眠ってしまっておりました。兎に角 365 日多分 10 年はその様にして講話会を聞いておりました。

すると 2019 年の講話会でチラッと先生が(グレールメール)の事を仰ったんですね。私は聞き逃しませんでした。調べました。先生から直接ご指導を頂ける。天にも昇る気持ちでした。そうしたら先生が旭川に講演にいらっしゃると言う情報をキャッチ。私は行きました。偶然、エレベーターで先生とお会いして(よく来たわね。あなたはラッキーよ)と声を掛けて下さいました。講演会では阿片さんが後ろで本を売っていらして、私はグレールメールの事を聞きました。そして、私のグレールメールが始まりました。ニドム以来、先生とまたお会い出来る迄に 10 年かかっておりました。グレールメールは夜に、出来事、良かった事、気づいた事等、眠くても毎日書きました。1 ヶ月の纏めを先生に出します。そして 2012 年からは最後に必ず独楽吟を書いておりました。

今、グレールメールの会を経てサブアニメーター、アニメーターとなりました。今やっと東京迄行かなくてもわかちあいのテキストに触れる事が出来る様になりました。感無量です。初めてわかちあいに参加して、こんなに心にピタッと来るワークがあるのかと 別世界を感じてから 20 年かかりました。

振り返って思うのは、私の源はまずは(講話会)だと思います。CD を何度も何度も聞いて先生の分かりやすく噛み砕いた教えを聞いてメモをして(今でもたまに見ます)そこで何らかの源が私に出来たんだらうと思います。それからグレールメールに出会い、コミュニオンのメンバーの方々とスカイプでも出逢いました。運営されるのは大村様と酒井様のお二人で、素晴らしい傾聴のお力を持って

いらして、コミュニオンを代表される方々です。その事は私にとって、とてもラッキーな事で色々支えて頂きました。

有り難うございました。

今後は、私の念願だったわかちあい会を継続し、今は ZOOM でスタッフ参加と札幌でも試験的に ZOOM を行っております。その(わかちあい会)をとことん行って、ゆとりが出てきたら、グループ活動で(祈り)に焦点を合わせた物を協力を得て行えたらと思っております。また今、不器用な私へのキーマッセージは先生の日めくりカレンダーの(人を許せないそんな自分を許してあげてください)です。当時親業の方から鈴木先生が(許す、それが一番難しい)と仰ってらしたと聞き心に残っております。鈴木先生と出逢い本当に素晴らしい物を沢山頂きました。心から感謝申し上げます。

秀子先生、今後もどうかお見守り下さいます様に。

先生のご健康お幸せを心からお祈り申し上げます。

拙い文章を最後まで読んで下さいます様誠に有り難うございました。

北海道
堀澤くるみ 様

6.皆で歩む幸せの道

私の体験を振り返ってみたいと思います。

2011年に二ドムで秀子先生がゲストでいらした幸(みゆき)流に家族で参加したのが、私にとって先生との初めての出逢いでした。

家族を繋ぐ存在であった子供の私が、新社会人となってから家族を巻き込んで不幸のどん底に落ちてしまってから、だんだんピアノに活路を見出して社会に復帰し始めました。徐々に活動をしていた頃、秀子先生に出逢い、その後グレールメールを始めました。

グレールメールを続ける中で、どんどん成長していったことを実感します。私の人生は幸せで輝いているとはっきりと言う事が出来ます。私の人生の大きな特徴は、悪いことをすべて良い事に転換して来たことかもしれません。秀子先生に授けて頂いたお言葉「悪いこともすべて良い事に繋がっているからね」というのは、まさに私の人生を表したものだっただけなのかもしれません。

今でも、たまに主人と今日よかったことは何？と食卓を囲んで話したりするのが好きです。主人と結婚することが出来たのも秀子先生のおかげです。その時授けて頂いた言葉は、「起こることにすべて意味があると言いますからねえ。」でした。子供に絵本を読み聞かせるような優しい口調で仰ったのでした。私はこの言葉を胸に、婚活の間ずっと指針にしていった結果、主人と無事結婚して今は幸せに暮らしています。

グレールメールをすることで、日々の中に隠された神様のメッセージを受け取ることが出来るようになったのかもしれません。不幸のどん底から幸せになり、今は他者に幸せのおすそ分けをしたい、と思うようになってきました。このように幸せな人生を歩めることになった秘訣が、やはりグレールメールにはあると思うのです。

酒井さん、大村さんが皆さんを導いて下さるグレールメールのグループ活動も、真の心の安心安全の場であり、いつでも暖かく迎え入れてくれる場がある、という心の安心感で、日々の生活を頑張ることが出来ています。

このように何の疑いも持たずに自分の受け皿となってくれる場が、人には必要だと思います。そのような場を作って下さっていることに、心から感謝いたします。秀子先生が導き作って下さっている幸せの道を、今皆んなで歩いている、という感覚があります。どこまでも先生について行きたいです。心から信じる事が出来る存在がこの世に居てくださる感謝を日々感じています。これからも、どうぞ先生お身体をお大切に、皆さんの為に長生きをしてくださいませ。言い尽くせない感謝と共に、お祈り申し上げます。

福岡県
Y.I 様

7.感想文

シスターへ

シスター、お元気でしょうか？

お変わりありませんか？

いつもお祈りありがとうございます。

札幌「幸せ発信地」はコロナ禍の影響を受けながらも断続的に継続しています。

久しぶりに仲間と会いますと嬉しさと安堵を感じます。

「幸せ発信地」のテキストを通して毎回シスターにお会いしています。

会で学習することにより、何気ない日常の中にも豊かな自然の恵み、仲間、身近な方々の優しさ、そして名も知らない方々に支えられていると改めて知り、とても有り難く感謝の日々であると心に沁みます。

会は最初のメンバーは仕事、介護等で参加できなくなっている方もいます。しかし、新しいメンバーが加わっています。

「幸せ発信地」で学び続け、少しでも力強く前を向き生きていきます。

シスター、いろいろ大切なことを教えて下さってありがとうございます。

シスター、ニドムでミニセミナーを開きましょう。

お待ちしております。

シスター、陰ながらご健康をお祈りしています。

祈りのうちに、感謝。

余談

11月21日に真駒内教会において札幌聖心会シスター田口の講演会がありました。横田さんと参加しました。

ユーモアたっぷりの楽しいお話でした。

最後にイエズス会の瞑想的幸せの祈りを教えていただきました。感謝の1日でした。

北海道
三室眞知子 様

8.札幌幸せ発信地とオンラインのグループ活動を続けて

オンラインのグループ活動は毎月開催していて、既に 170 回を超えました。

私は発足当初から参加しています。その間、色々な変化や出来事を経験し、それらの体験をお話しさせて頂いてきました。参加されている方々からは温かいフィードバックをいただき、励まされたり、勇気づけられたりしてきました。また、鈴木先生の執筆した文章を参加者の方々と分かち合うことは、とても楽しく、自分一人では読み取ることの出来なかった気づきもあり、学びを深める事が出来ます。こういった学びの積み重ねは、私自身を作っていくことのように感じています。毎月主催して下さる酒井さん、それをサポートしてくださっている大村さんそしてご参加下さる皆さんにはとても感謝しています。私も自分が出来る小さなお手伝いとして、9月からテキストの配信をすることに致しました。大村さんが大病を患い、体調が万全では無いことを思い、酒井さんのご負担を少しでも軽減できたらと思いました。

この、小さなわかちあいの場が続いていることは奇跡なようなことに思います。参加者お一人おひとりの笑顔が浮かんできます。この場に集った方々、その方々とつながる人たち、いきいきと楽しく生きて行けますように、そういった思いが込み上げてきます。

札幌幸せ発信地は 2016 年に発足し、コロナ禍でお休みもありましたが 41 回開催されています。ちょっと良かった事と、鈴木先生が書かれたものを読み合わせ、学びや気づきをわかちあうことを続けています。ちょっと良かった自分の体験、そこからの気づきを話すこと、それを聴いて頂くこと、また皆さんからのフィードバックを頂くことは、自分と他者のとても温かな心に接する時間となります。そのことが、どんなにか人を癒し、その人らしく、精神を成長させていくことだろう、と発信地を運営し感じています。鈴木先生のお言葉からは、自分の心のあり様をわかちあい、晴れ渡って行くような、清々しい気持ちになります。このような集いは、一人では運営できるものではなく、参加して下さる方々、応援して下さる方々、安心安全の守られた場であるコミュニオンのベース、計り知れない多くのお力で続けられていることを思わずにはられません。そして鈴木先生は私達の絆です。

続けていくことは力を使います。ですが、助けがあります。又参加して下さる方々がわかちあって下さる言葉は、励ましになり、癒しになり、喜びとなって自分に返ってきます。

鈴木先生が教えて下さった、感謝と賛美この二つの言葉を、この二つの会に捧げたいと思います。

北海道
横田朋子 様

▶ 後記

9人の方が感想文を寄せていただきました。

鈴木秀子先生にだけ読んで頂きたいという方、コミュニオンのホームページにも載せていいですよという方と公開範囲は様々ですが、このようにわかちあってくださり感謝です。心から御礼申し上げます。

2009年にグレーメール活動がはじまり3年後に記念の感想文を作った時は50人近くの方がいました。グループ活動には100人以上の方がご参加されていました。あれから10年以上たち、1ミリ1ミリと歩んできました。気分は上がったと思ったら、下がったようなアップダウンを繰り返しながら、それぞれが確実に成長してきたと思います。その結果の一端が今回の感想文として普段は心の奥にある思いを表現することができました。表すことによって自分でも自分の思いに気づくことが多いと思います。さらにその内容を先生に読んでもらい、またご縁のある仲間に読んでもらい、そのことが幸せは波紋のように広がっていくように感じます。

はじめに記しました先生の言葉

「自分で自分を幸せに出来るような人生を築く」「そして私たちが幸せ発信地になれるように一緒に生きていきましょう」につながってきたことが実感としてよく分かった感想文の編集作業でした。

ありがとうございました。

▶ 編集者

今回の感想文は、大村義克、横田朋子、酒井隆の3人で作成しました。

それぞれ住まいは、神奈川県、北海道、茨城県と離れていますが、Zoomやメールを使って協力して作成出来て本当に良かったです。

スカイプやZoomを使ってオンライングループ活動も3人が当初から中心になって運営し、176回と積み重ねてきました。インターネットの技術もあるのですが、コミュニオンの力があつたからこそ、実際にお会いしたのは数えるほどの回数ですが、このような活動が継続することが出来ました。